

道第6号様式 道営土地改良（苦前中北部地区（区画整理））事業 計画概要書

1	目的	吉前町の酪農は恵まれた土地資源を背景に経営の規模拡大や近代化を進め要な産業として発展してきたが、新規参入対策及び担い手の育成が課題となっており、後継者不在の農家も3割弱を占め、離農等により戸当たり飼育頭数が増加しているため乳牛育成期における公共牧場の預託需要が高まっているが、現況施設規模では今以上の増頭は受け入れが出来ない状況であり、また、牧草の収量が年々減少と飼料価格の高騰により収益性の構造改革が課題となっている。このことから畜産物に係る安全・安心の確保・家畜排泄物の適正な管理と利用の促進を図り、基盤整備を行うことで不陸の解消による円滑な機械の運用を可能とするため、本事業によりは場条件の改善を行い牧草の収量増・作業の効率化を図り、預託牛の増加に対応するため飼養形態に合った施設の設置を行い地域全体の収益性の向上、酪農経営の安定化を目指す。									
地域の所在及び現況	(1) 地域の所在	北海道吉前郡吉前町									
	(2) 地域の現況										
	ア 地 形	波状性丘陵地									
	イ 地 質	洪積土									
	ウ 土 壤	細粒褐色森林土、細粒灰色台地土、礫質細粒灰色低地土等									
	工 气 象										
	平均気温	8.0°C		かんがい期平均気温	16.9°C						
	平均降水量	1,337.7mm		積雪深	124cm		平均降水日数	135日			
	根雪期間	12月2日から4月4日		無霜期間	5月2日から10月21日						
	オ 水利状況	-									
基本計画	カ 営農状況	河川流域の平坦地は水田地帯、高台段丘地には酪農地帯を形成している。									
	キ 地域環境の概況	河川流域の平坦地は肥沃な土地を有し良好な稲作が行われており、段丘地は酸性土壤であるが畑作適地として利用され、丘陵地は放牧適地として酪農が営まれており、海岸地帯は段丘なる高台と平坦な沃野が一望の広がりをみせている。									
	(3) 受益地積及び関係戸数										
工事又は管理の要領	地目	田	畠		その他	計	受益戸数				
	区分	ha	ha		ha	ha	戸				
	区画整理	現況 計画	5.5 5.5	179.0 179.0		168.8 168.8	353.3 353.3	4 4			
		現況 計画									
	全体	現況 計画	5.5 5.5	179.0 179.0		168.8 168.8	353.3 353.3	4			
3	(1) 事業計画内容	粗飼料自給率の向上や営農経費を節減するため、草地整備改良を行う。									
基本計画	(2) 環境との調和への配慮	地域が有する農村風景と調和の図った整備内容とし、環境への負担を増幅させないよう配慮する。また、施工にあたっては、降雨時等の汚濁水の流出防止対策をはじめとした環境対策に努める。									
	4	主工事計画	事業種	受益面積	事業量及び事業内容						
工事又は管理の要領	(法事業) 区画整理 草地整備改良		353.3ha	不陸均し (起伏修正 I) 353.3ha							
造成又は改良される施設の管理方法等	施設名	管理団体名			管理方法						
	—	—			—						